通話試験器

テルライン・チェッカー

MODEL　KD−777

取扱説明書

株式会社古賀電子

１．はじめに

このたびは、テルライン・チェッカー　KD-777をご購入いただき、まことにありがとうございます。ご使用まえに、この取扱説明書をよくお読みになり、作業の良きパートナーとしてご愛用いただきますように、おねがいいたします。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡など人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項をお守りください

この「安全上のご注意」をよくお読みください。

故障したら使わないで下さい

不具合が生じた場合は、必ず当社窓口にご相談ください。

★警告表示の意味

この取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。

表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意を守らないと、火災・感電などにより死亡や大ケガなど人身事故になることがあります。

⚠注意

この表示の注意を守らないと、感電その他の事故によりケガをしたり、周辺の器物に損害を与えたりすることがあります。

●記号の説明

注意を促す記号		**行為を禁止する記号**			**行為を指示する記号**
火災	**感電**	**禁止**	**分解禁止**	**水場での使用禁止**	**強制**

⚠警告 ⚠火災 ⚠感電

禁止

・ 電灯線や電源線、動力線に接続しないでください火災や感電の原因となることがあります。

水場での使用禁止

・ 水場で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

強制

・ 通話コードを接続する時は、感電防止のため、プラグをジャックに挿し込んでから、ワニグチクリップを目的の線に接続して下さい。

・ 通話コードを外す時は、感電防止のため、ワニグチクリップを外してから、プラグを抜いてください。

分解禁止

・ 分解や改造はしないでください。本体や付属品、オプション品を分解したり、改造したりしないでください。故障や感電、火災などの原因となります。

注意

強制

・ 送話出力のボリウムは事前に最適位置調整してください。
［出荷時は最大になっています。］

・ レシーバーに金属片などの異物が吸着していないかを事前に御確認下さい。

２．本機の特徴

・ 保安器内蔵

・ 遠距離通話可能

・ 有線通話なので場所を選ばない

・ 軽量、小型（ポケットサイズ）

３．用途

・ 電気工事及び、配電盤工事、構内での保守

・ プラント内の作業連絡

・ 建設工事現場、発電所など電話がないところ

・ 屋外ステージ、スタジオ、劇場での連絡

４．付属品の確認

・ 本体

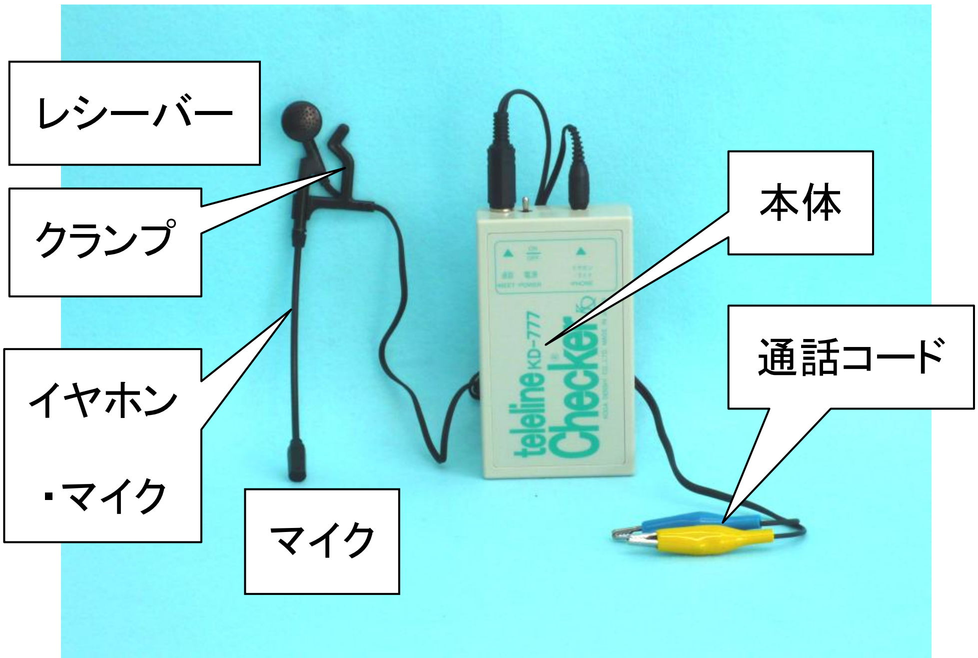
・ 通話コード

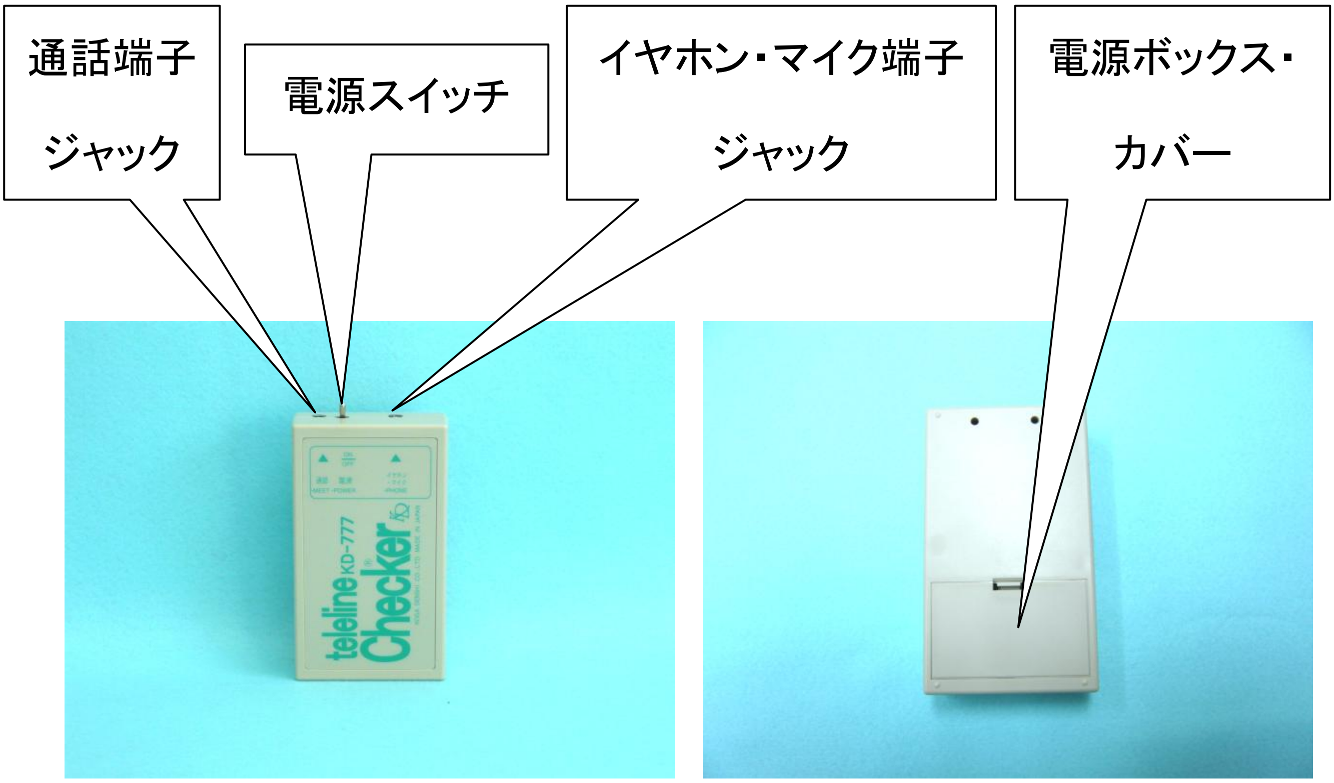
・ イヤホン・マイク

・ 乾電池［Ｓ－００６Ｐ］

・ 取扱説明書

5. 本体・各部の名称と機能





正面　背面

６．基本的な使い方

●電池交換のしかた

①電源スイッチ[OFF]側にしてください。

②電池ボックス・カバーを外してください。

③電池ボックスの乾電池を新品のＳ－006Pに交換してください。

④電池スナップの勘合を確認してください。

⑤電池ボックス・カバーを嵌めてください。

⚠注意

❗強制

・ 長期にわたって本機を保管する場合は、乾電池の液漏れ防止のため、乾電池を外してください。

●接続のしかた

・ **イヤホン・マイクの接続のしかた**

① 電源スイッチ［OFF］側にしてください。

② イヤホン・マイク端子ジャックにイヤホン・マイクのプラグを奥まで挿し込んでください。

・ **通話コードの接続のしかた**

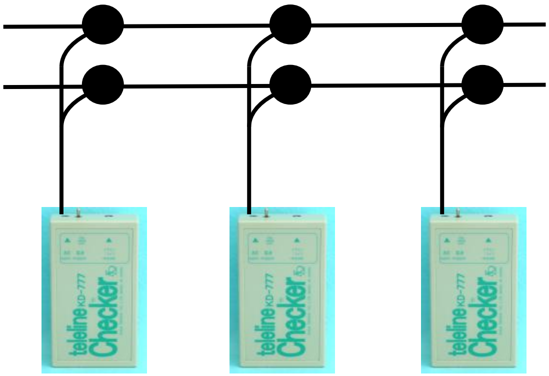
① 電源スイッチ［OFF］側にしてください。

② 通話コードのワニグチクリップ［黄／空］には何も接続しないでください。

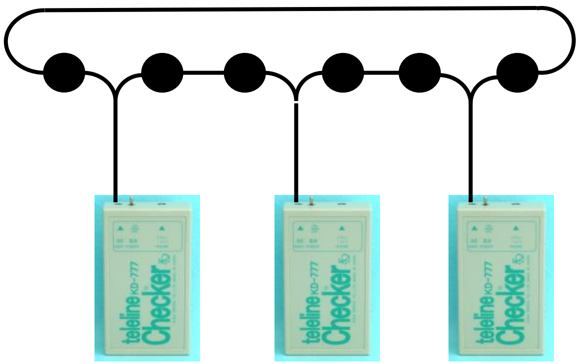
③ 通話端子ジャックに通話コードのプラグを奥まで挿し込んでください。

④ 通話コードのワニグチクリップ[黄／空]を通話線に接続してください。

★ 並列接続・直列接続どちらでも通話出来ます。



並列接続



直列接続

警告 感電 火災

禁止

・ 電灯線や電源線、動力線に接続しないでください火災や感電の原因となることがあります。

水場での使用禁止

・ 水場で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

強制

・ 通話コードを接続する時は、感電防止のため、プラグをジャックに挿し込んでから、ワニグチクリップを目的の線に接続してください。

・ 通話コードを外す時は、感電防止のため、ワニグチクリップを外してから、プラグを抜いてください。

●イヤホン･マイクの装着方法

注意

強制

・ レシーバーに金属片などの異物が吸着していないかを事前に御確認ください。

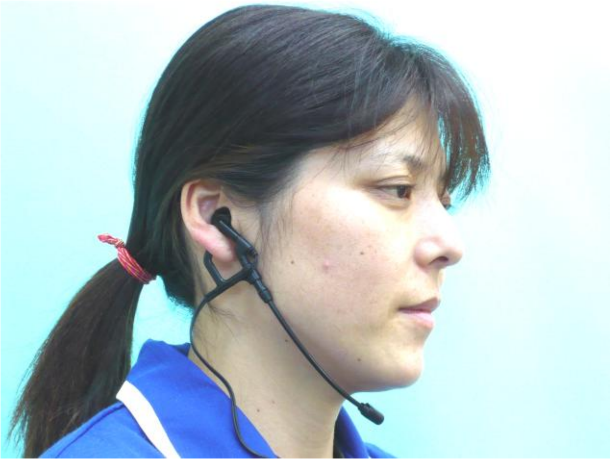
①レシーバーとクランプで耳たぶを挟むようにしながら、レシーバーを耳に装着してください。

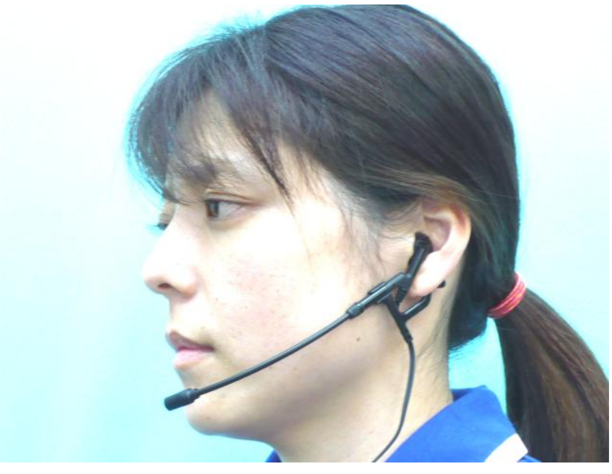
②クランプは上下にスライドします。丁度良い位置に合わせてください。

③クランプからコードが外れた時は、コード止めにコードを軽く押し込んでください。

④マイク位置は口元に調整してください。

★レシーバーとマイクを回転すると、左右リバーシブルとなります。





●通話のしかた

⚠注意

❗強制

・　送話出力のボリウムは事前に最適位置調整してください。

［出荷時は最大になっています。］

★調整方法

→

電池ボックス・カバーを外す。

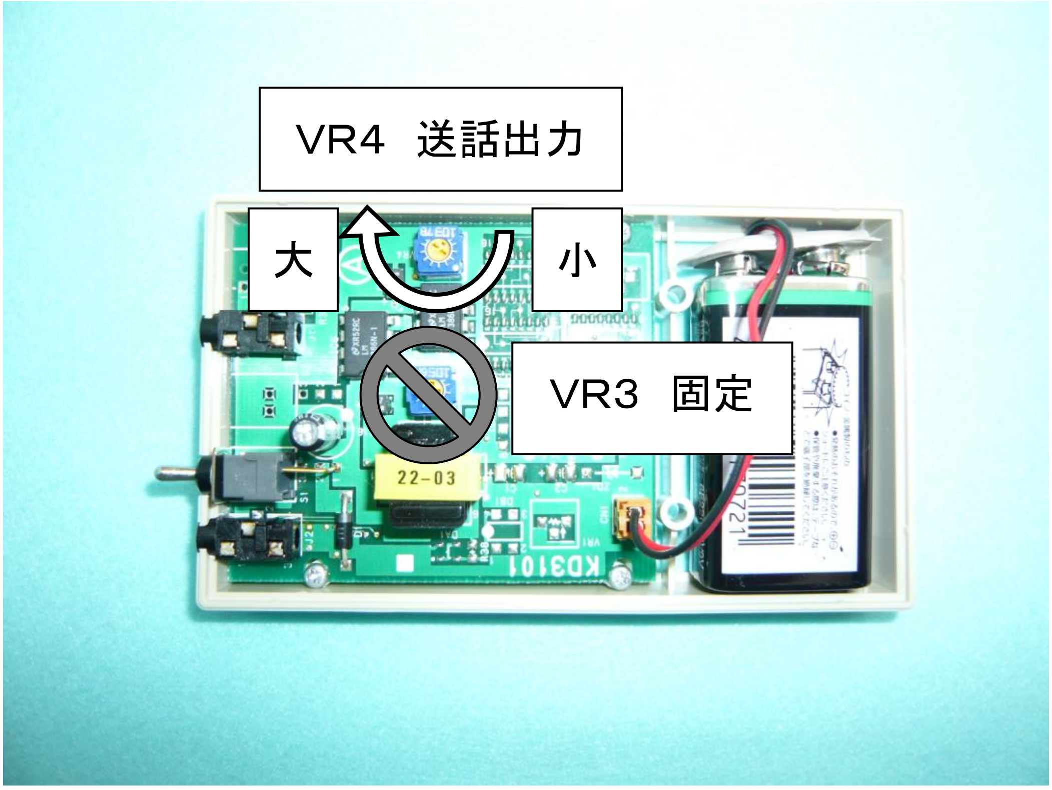
→

２本のビスを外す。

→

正面カバーを外す。

VR4で送話出力を調整します。



※VR3は調整済み固定です。動かさないで下さい。

※ケース勘合の際、ビスを堅く閉めると、電池ボックス・カバーが開きづらくなります。

★ ケース同士が左右に動く位の隙間で閉めて下さい。

①イヤホン・マイクの接続を確認してください。

②通話コードの接続を確認してください。

③電源スイッチを［ON］側にしてください。

④イヤホン・マイクを耳に装着してください。

7. 故障と思われる前に

- Ｑ　音声出力が小さい。音声が歪んでいる。
- Ａ　電池が消耗しています。新品に交換してください。

- Ｑ　電源スイッチを入れても電源が入らない。
- Ａ　電池が切れている。もしくは、電池スナップが正しく勘合していない。

電池スナップが断線している。

★**電池スナップは消耗品です。**

- Ｑ　相手と通話が出来ない。
- Ａ　下記を調べてください。

①電源が入っていない。

②ワニグチクリップが外れている。プラグが奥まで挿入していない。

③プラグを挿し間違えている。

④本体内部の送話出力のボリウムを絞っている。

⑤通話コードが断線又は短絡している。

★**通話コードの布線は下記の通りです。**

◎プラグ先端：ワニグチクリップ[黄]

◎プラグ中：ワニグチクリップ[空]

◎プラグ奥：空き、

★**通話コードは消耗品です。**

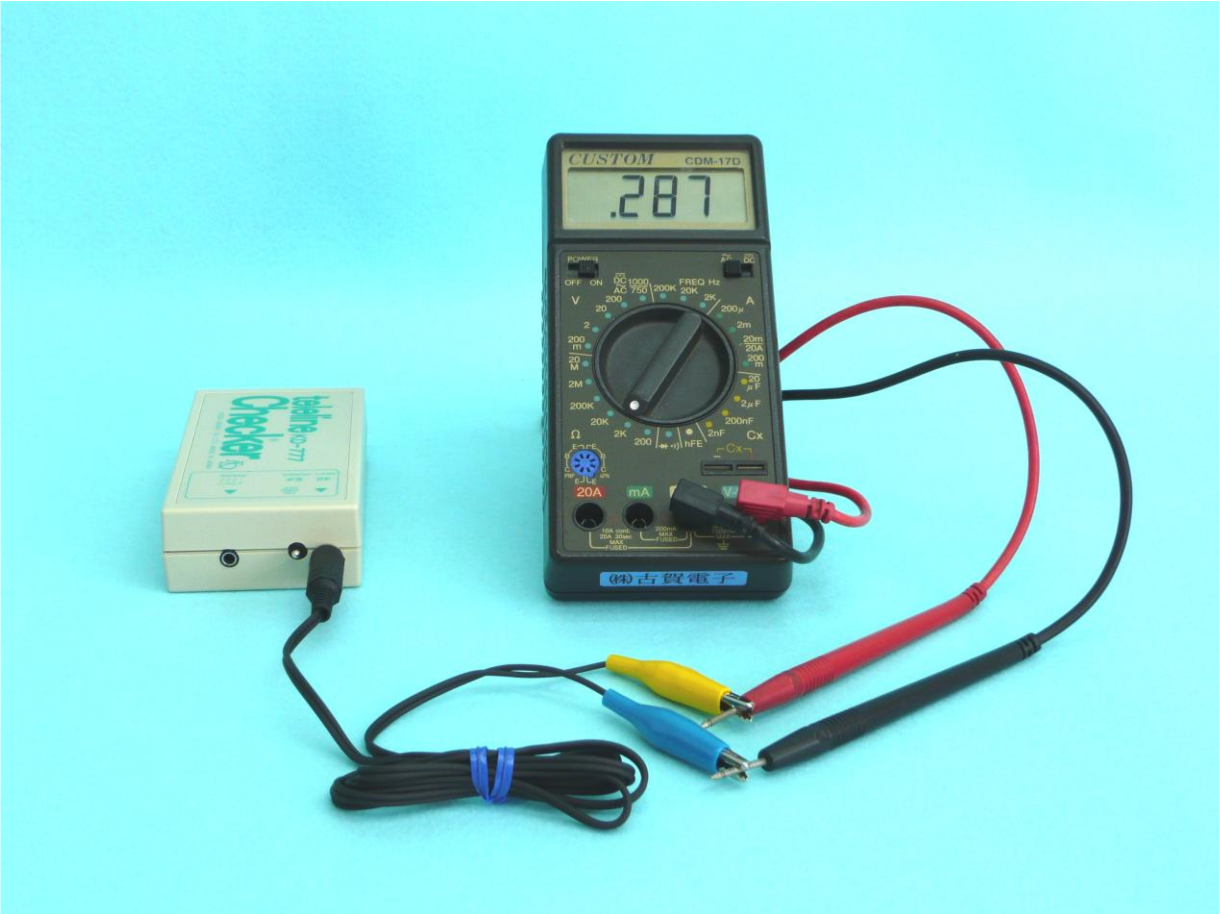
⑥通話端子間の抵抗値測定

⚠注意

❶強制

・ 必ず電源スイッチ[OFF]側状態で行ってください 。

● 通話端子間の適正抵抗値は280～290Ω です。断線の場合、抵抗値が異常に大きい又は小さい場合は本体の修理が必要です。



⑦イヤホン・マイクを交換してみる。

★イヤホン・マイクは消耗品です。

８．製品仕様

項目		内容
通話端子	入力インピーダンス	600Ω
	入力感度	－40dB
	出力インピーダンス	600Ω
	出力	100mW
イヤホン・マイク端子	マイク入力方式	ECM 方式
	マイク感度	－40dB
	音声出力方式	ダイナミックスピーカー方式
	音声出力	100mW
電源		乾電池　S－006P（9V）　1個
消費電力	アイドリング時	0.18W
	最大時	0.32W
本体寸法		W61xH105xD28mm （突起部含まず）
本体重量		約115g（乾電池含む）
通話コード長		1m